

「うんっ、うんっ、もうね？ まちきれ、ないのっ…
だいすきな、パパっ♡のお、おち○ちん…っ♡」

「えへ、えへへ…♡」

おねーちゃん、とお…ワタシが、あいする、パパさまのモノに…なった、きねん？
なんですよねえ…♡ おち○ちんさまあ…はやく、ほしいですっ♡♡」

彼女たち双子の姉妹は、少し前まで正義の魔法少女として戦っていた
しかし妹であるリムがアクドーの手によって捕らえられてしまったと「らから事態は一変する
洗脳改造を施され、悪の怪人へと変貌したリムによって
姉のカナンもまた捕らえられてしまったのだ

妹への必死の説得もむなしく敗北し、アクドーの手に落ちたカナン
彼女もまた、妹と同じ末路をたどった

洗脳改造を施され、秘密結社アクドーに所属する悪の怪人として生まれ変わったのだ
泣き叫び抵抗したカナンだったが

リムの改造データを元に研究され、より強固になった洗脳改造の前に成すすへもなく
処置はスムーズに完了した

以前の快活で優しく正義のために戦う彼女はもう存在しない

今の彼女は記憶を、そして人間の肉体を失い

ただ自分を生み出してくれた目の前の男のために尽くし従う従順な奴隷ペンド

先に生み出された妹であるはずのリムを「おねーちゃん」と呼び慕う悪の戦士

魔法少女怪人カナンであった

「もお、カナンはあ、まだ…うまれたばかり、でしょっ
おねーちゃんが、さきにい…おてほん、みせてあげる、からあつ
パパの、よろこぶよ」いっばいみせてっ、あげる…からあつ
おねーちゃんが、さきっ…だよっ」

「うっっ、そんなのお…みなくても…しってる、もんっ
ワタンはあ、うまれた、ときから…パパさま、の…どれえべつと♡だからあつ
パパさまのお、おち○ちんさまあ♡よろこばせて、あげるのお…ぜんぶしってる、もん
だつて、だつてえ…ワタンは、そのために、うみだして…もらっただ、もんっ♡」

「むっっ、おねーちゃんが、さきっ」

「ワタンも、パパさまの、おち○ちんさまあつ、はやく、よろこばせて…あげたいのおっ」

我先にと情欲のまま男のイチセツを取り合う二匹の従順なメス奴隷
その姿からは、かつての勇ましく理性的な面影を窺分取ることはできない



「ふおおっほ、ケンカはいかんぞお前たち
姉妹は仲良くせんとな

それに、チ○ポをくれてやる順番はワシの気分が決める」にてや
お前たち奴隷ベツトが勝手に決めていいものではなぞぞ

「ああう、パバ……「めんな、さくら」

「パバさまあ……「めん、なぞら」です……」

「わかればよい、ちゃんと謝れて偉いぞお
リムもカナンも本当にいい子じゃのお〜

お前たちはワシの自慢の奴隷ベツトじゃ、よしよし」

「ドクターマクラーがぞう言らつう」ワシの頭をななめ

「ワシは法廷「うう」と表情をアロけさせた

「パバさまあ……♡ えへへえ♡」

「ふおおっほ、なでてやるだけでこれ以上ならく〜ぶらに幸せをうたいておいて、かわいらしいせいで
では、そのかわいらしい従順なベツトのこちからか「褒美をくれてやるかじゃが……
ふむ、よし決めたぞ」

—「チ」ポーン

「ひゃんぷん」

リムの膣内を蹂躪した肉棒が引き抜かれるとブルブルと痙攣する膣穴が現れる

「ひっ、ひゃふ…はっ、へああ…へっ、へっ」

「ぱ、ぱあ…ポク、のお…めしゅあなあ…」

「きもち、よかったあ…っ」

「ふおほほ、もちろんじや

お前の肉体はワシ専用の性処理肉穴奴隷ベットに最適化してやったのでうよくないはずがない、最高じゃったぞ、リムよ」

「へっへっへっ…え…♡ よかったあ…♪」

「へっへっへっ…ふも…で…もらえて…ポクも、うれひ…♡」

「さて次じやのう、可愛がつてやるぞ…カナンよ」

「ふああ…っ…ひゃんぷん♡ かわいが、つてつてくらさい、ませえっ♡ パパさまあつ♡」



「んっ!! くっっ!! ひゃあぁぁ!!」

男は、いまだに淫響のやまなひカナン、の股間を押し広げるようにグインと腰を上げ激しび、「スティングを開始した」

「あぎっ!! ひゃあぁぁ!! ひあっ!! ふぎっいん!!」

熱い肉棒が膣奥をノックするたびに裏返ったメスの媚声がカナンの回から吐き出される

「思い出すのっ、カナン、お前が初めて」「」連れて「られた日の」とき

「へっ、はっ!! ふあ、あぁっ!!」

「ボク、が…つれて、きた、んだよねっ、パパぁぁ!!」

「うむ、リムの淫毒で」

動けないお前の処女を奪ってやった時も

「うやうやと大声で泣き叫んでおったわ」

「あぎっ!! へあっ!! ひゃあぁぁ!! あっ、あぁっ!!」

「威勢よく妹を返せとのたまうお前を組み伏せ」

処女膜を貫いたときはいい気分じゃったよ、ふおほま

あの時のお前の悲鳴は忘れられん」

「ひゃあぁぁぁ!! へっかふ!! ふ、ふっ、あひいひゃあぁぁ!!」





「はっ、はー ああッ♡」

「ワタン、い…はあッ、すき…♡」

「パパさまがあ、だっ…すき♡」

「しゅき、しゅきすき♡…♡ パパさまあッ♡」

「ふおっふおっふお、そっかワシが好きか」

「しゅき♡♡ だっッ、すき、すき♡♡」

「ワシのモノになれてうれしにかッ」

「うれしい♡♡ ワタン、パパさま、のっ、モノおっ♡♡」

「ふおほほ、ではかつてのお前の仲間も」

「ワシのモノにするのを手伝ってくれるかのっ」

「てっ、だっッ… なかまあ、パパさまの、モノ♡♡ すめッッ」

あうん

あッ♡♡

あッ♡♡

あッ♡♡

かつての仲間といっつのが何を意味するのか
カナンにはわからなかったが
奴隷ペットは主の命令が絶対なのだから
なんだからって関係ない
その容姿と行動は「レイニヤ」としてその容姿を
愛する主の顔を見ても、カナンもまたうれしくなり笑っ
た。—は洗脳改造が完全に移行されたのを確信した
かつて愛と正義と、血を分けた妹を信じて戦った魔法少女はもういない
「ワシのモノは、性支配される喜びを知り随分変わった注ぎな愛の獣だぞ」

「ふおほほっ、かわいらしい奴隷ペントじゃ
カナンよ、今後はその魔法少女の力でワシの敵を屠れ
ヒーロー連合を叩き潰してやるのじゃ」

「ひやいっ♥ ひいろお、れんごー?」じぶじぶっ、ます!!!

パパさま、のおっー てきー ぜんぶ、ぜんぶ...」みじゅっ

あつ、ああア えへっ♥ なんが、あたま、なかあつ、きもち、ぶらぶら

パパさ、まのおっ、やく、に...たてりゆ、ど...おもった、らあつ♥ えへへ、へっ

「るしゅ、じゅほい、パパさま、てきんごー...
いっびき、の「すすっ...えへっ、へっ」 はひやははほいん」

「ボク、ボクもっ、ひーろお、れんごお、ぜんぶっ、ころす、よー
パパのじゃま、するっ、イヤなてきー ぜったい、ゆるっ、さな、の...」

「おおっおお... 二匹とはその意気じゃ」

堕ちた二匹のメス奴隷ペントの

裏切り言葉を聞き股間を辱らせるアクトー

同時に隆内で肉ヒタがイナヒツを激しく求め絡まつき

興奮は最高潮に達した

「くぶっ、たまらん

限界じゃ、しっかりと奥に注いでやるのでっ、お前もいけ、カナンよ...」



—ワシ「ホムラ」

「いっほっ、へああんっ♡へあっ、あへへへへっ♡ふあ……あ……っ♡」

大量射精が終わった肉棒が小気味よい音と共に引き抜かれた

「は……は……は……へっ、えへへば、パ……さまあ……っ♡」

「ん、パパあつ？ カナン、の……めすあなあつ、きもちよかつたあ？」

「ふおっふお、さすがリムの妹じやな、リムと同じくらい良い使い心地のメス穴じやったぞ」

「へへへ……だつて、カナンっっよかつた、ねっ」

「はへえ……うんっ、うんっ♡おねーちゃん、あり……がとおっ♡

パパ、さまもお……」ほーび、あり、あとお……っ♡

「これ、からもお……これーべっとおっ……え……いっば、あ……っかつてく……じや……ねえ……っ♡」

「ふおほほ、当然じや、そのためにお前たちを生み出したんじやからな

マ○」がワシの子○ポの形になって二度と塞がらなくなった後もガンガンハメ倒し

壊れて戦力にもならなくなればモルモットとしてワシの研究の糧にしてくれるわい

最後の最後までワシの役に立たせてやるぞも、奴隷「ベッター」……最高の幸福を手に入れてやる

「あはあっっしあわせ、え……♡」

—END